

ドゥシャンベ市メディカルセンター医療機器整備計画引渡式

2月10日、ドゥシャンベ市メディカルセンターにおいて、草の根・人間の安全保障無償資金協力による「医療機器整備計画」引渡式が行われ、同式典は宮下大使ほか、ドゥシャンベ市衛生委員会副会長や同院院長など、病院関係者が多数参列しました。

今回引渡されたのは、低出生体重児用人工呼吸器や保育器、手術台などの機械で、これによりこの病院で生まれる新生児のケアの拡大が期待されます。

宮下大使はスピーチの中で「タジキスタンの人々は皆子どもを愛し、大切に育てていることは良く知っているが、弱い立場にある子どもの命は社会全体で守るべきである。今回供与した機材を活用して、これからこの病院で生まれてくる命が健康に育っていくことを願っている。」と述べました。



花束で歓迎される宮下大使。



テープカットを行うドゥシャンベ市衛生委員会副会長と宮下大使。



整備された保育器を見学している様子。



産科病棟の前に設置された ODA プレート。